

No. 1120

安 全 の 日

7月1日は全国安全の日、この日首相官邸では交通安全や労働安全の向上に功績をあげた人々の表彰式が行なわれました。表彰を受けたのは全国各地から選ばれた個人10人と13個体の人々。東京・江戸川区の小松川地区は東京一の交通事故発生地区。子供たちは自分たちの手で事故をなくそうと、昭和45年、小松川交通少年団が結成。

交通事故の防止と安全施設の点検に活発な活動をしています。婦警さんの指導で横断歩道の渡り方を学びます。道路やガードレールの清掃も少年団の重要な任務です。

腹話術で交通ルールの勉強、子供たちは知らず知らずのうちに交通ルールをマスターしていきます。

記念パーティーで三木首相に激励された少年団はこれからも一生懸命頑張りますと答えました。

時代の進歩に伴って増大する労働災害や交通事故、安全には充分注意したいものです。

山 開 き

山開きを明日にひかえた6月30日、富士山のふもと山梨県富士吉田市にある浅間神社では、道開きの儀式が行われました。

神楽を奉納し、天狗さまが鳥居にわたした綱を切れば道は開き、いよいよ富士山の夏山開き。

山頂で御来光をおがもうと、闇夜をついての登山。北海道釧路市からはるばるやってきた広瀬武夫さんは、7月1日がちょうど70歳の誕生日「古希万歳・喜寿へ前進」のたすきを肩に頂上をめざします。

7月1日、富士山は下界の天気とうってかわって開山初日には珍しく快晴、気温は零度、風速は6メートルと絶好の登山日和に恵まれました。午前4時25分、雲海をアカネ色に染めた御来光に、あちらでもこちらでも「バンザイ」の大歓声。

日の出とともに五合目の小御岳では富士山祭りが行われました。みこしがお中道を練り歩き祭囃子が富士山にこだますれば、日本列島は本格的な夏を迎えます。